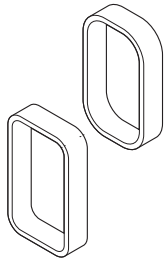
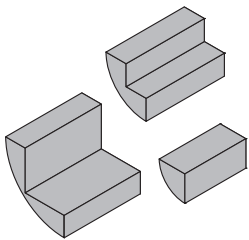


施工説明書 Roxtec SRC

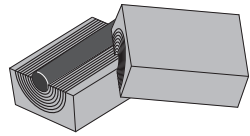
部品構成



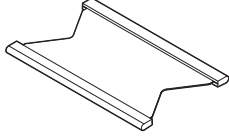
SRC フレーム



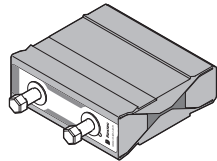
RC (丸角) モジュール



Roxtec RM シーリングモジュール



ステイプレート

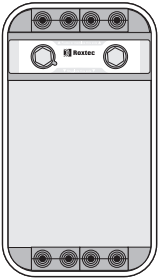


Roxtecウェッジ

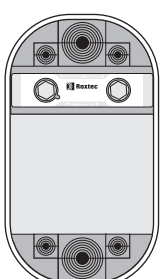


Roxtec 潤滑剤

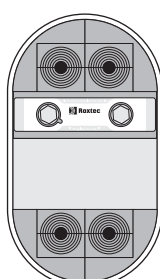
RC モジュールの構成



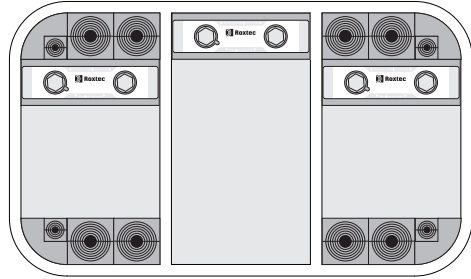
内側半径 20 mm のフレームの場合、RC モジュールの間に RM 20w40 モジュールまたは RM 20 モジュールを配置します。



内側半径 40 mm のフレームの場合、RC モジュールの間に RM 40 モジュール 1 個および RM 20 モジュール 2 個を配置します。

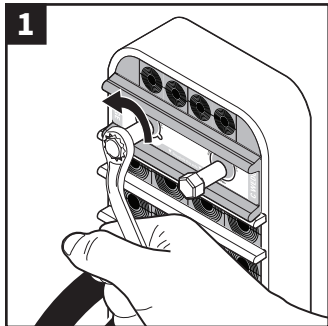


内側半径 60 mm のフレームの場合、RC モジュールの間に RM 40 モジュール 2 個を配置します。

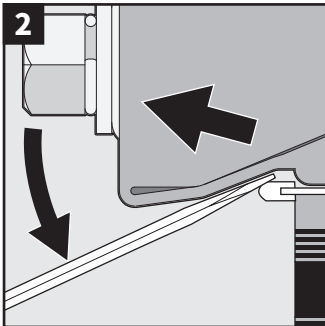


コンビネーションフレームで使用可能なパッキングスペースの例。

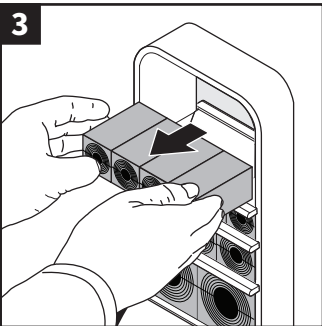
取外し手順



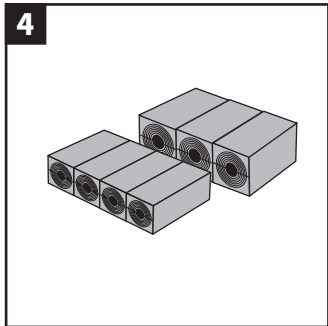
ボルトが完全に止まるまで交互に緩めます。トルク値は 20 Nm を超えないよう注意してください。



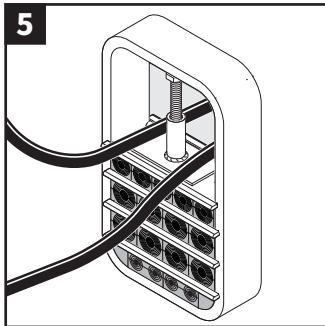
薄鋼板の治具を使って、ウェッジをステイプレートから持ち上げて取り外します。



必要なモジュールを取り出します。



再施工まで、モジュールを施工する列にまとめて保管しておきます。モジュールを交換する必要がある場合は、その列に取り付けられているモジュールをすべて交換してください。



ケーブルやパイプの敷設完了に時間を要する場合は、部分的にモジュール挿入完了している部分だけでも圧縮して保管してください。

免責事項

Roxtec ケーブルおよびパイプ・エントリー・シーリング・システム (以下、「Roxtec システム」) は様々な部品から構成されるモジュラー式のシーリングシステムです。それぞれの構成部品は、Roxtec システムが最大限の性能を発揮するために次がすることができません。Roxtec システムは、様々な危険への耐性を認証されています。このような認証や耐性は、Roxtec システムを構成するすべての部品に依存するものです。したがって、Roxtec システムを構成するすべての部品が Roxtec のライセンスを受けて製造されたもの (以下、このようなライセンスを受けた業者を「認定製造業者」とする) でない限り、認証は無効となり適用されません。なお、Roxtec では以下要件の両方が満たされない限り、Roxtec システムの性能を保証しないものとします。(i) Roxtec システムを構成するすべての部品が認定製造業者により製造されていること、(ii) 買主が以下の (a) ならびに (b) を遵守していること。
(a) Roxtec システムまたはその部品は、納入時のパッケージに入れたまま屋内で室温保管する。
(b) 施工は、その時点で有効な Roxtec の施工指示に従って行う。
Roxtec は製品情報を提供しますが、Roxtec システムまたはその構成部品の購入者は、予定

している作業方法、施工または用途に製品が適合するかどうかを、自身で判断する義務を負います。
Roxtec は、認定製造業者以外によって製造された構成部品を使用した Roxtec システム、または、本来の仕様や目的とは異なる方法や用途での施工により生じた損失または損害について、直接的、間接的、二次発生的、喪失利益、その他いずれの種類の責任を負わないものとします。
Roxtec システムまたはその部品に対して保証を行わず、一切の責任を負わないものとします。
Roxtec は、商品性および特定目的に対する適合性に関する黙示的な保証、ならびに制定法または判例法により定められたすべての明示的または黙示的な表明と保証を明示的に除外します。ユーザーは Roxtec システムが意図する使用に適合するかどうかを判断し、その判断に関するすべてのリスクと責任を負うものとします。いかなる場合も、Roxtec は、間接的、結果的、懲罰的、特別、または付随的な損害または損失には責任を負いません。
Roxtec の製品は、Roxtec の一般販売条件に従って提供・販売されます。Roxtec の一般販売条件の最新版は、roxtec.com/general-terms-of-sales で閲覧・ダウンロードできます。

施工後の検査

- ウェッジの向きは正しいですか？
- ウェッジのネジは締め付けられていますか？ウェッジクリップは取り付けられていますか？
- フレームに対応するパッキングスペースの寸法と比較して、モジュール組み合わせ時の寸法は正しいですか？
- 各モジュール列の間にステイプレートはありますか？
- すべてのモジュールはステイプレートで固定されていますか？
- 余分な潤滑剤が絞り出ている状態を目視できますか？

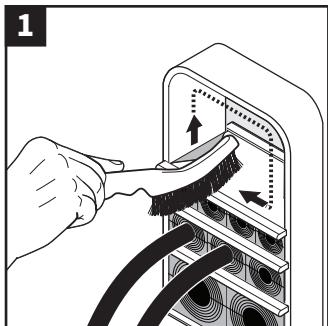
注意

- 最大限性能を発揮するように、施工後 24 時間はケーブル/パイプに負荷や圧力をかけないでください。
- RM 製品と一緒に使用されます。
- ケーブルやパイプの敷設完了に時間を要する場合は、部分的にモジュール挿入完了している部分だけでも圧縮して保管してください。
- モジュールが損傷している場合やモジュールを交換する場合は、その列に取り付けられているモジュールをすべて交換してください。
- 重量のあるケーブルやパイプは支えて施工する必要があります。
- 認定や認証によっては、本製品用途に関連する改正点や制限条件が含まれる場合がございます。
- 本施工説明書および関連文書の最新バージョンは、roxtec.com をご確認ください。

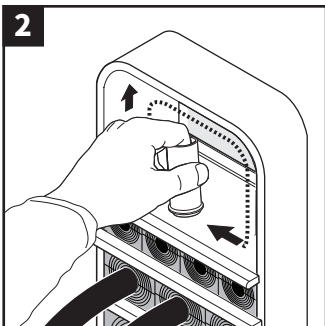
施工用工具

- プレ・コンプレッション・ツール (非売品)
- スパナ (非売品)

再施工手順

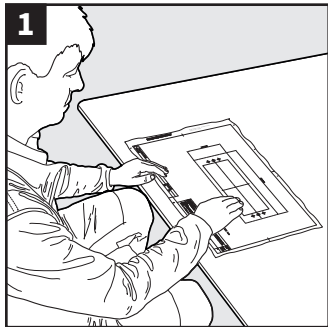


露出しているパッキングスペースの内面に埃や塵がないことを確認します。

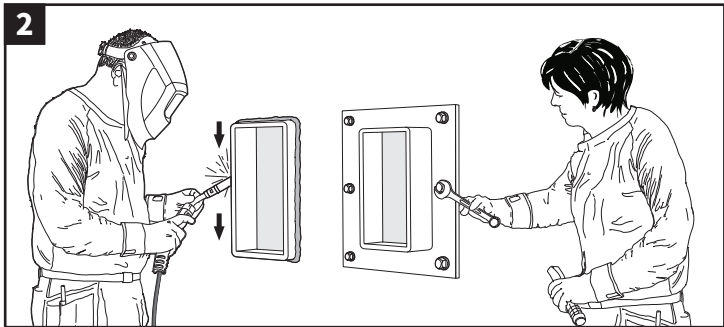


内側の表面全体に Roxtec 潤滑剤を塗ります。その後再度施工の手順を続けます。

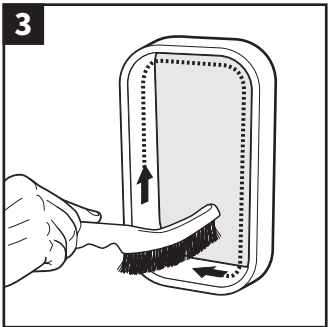
製品取付



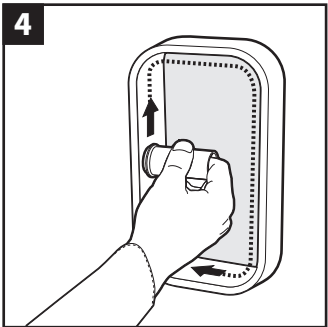
開口部寸法の情報図は roxtec.com でご覧いただけます。



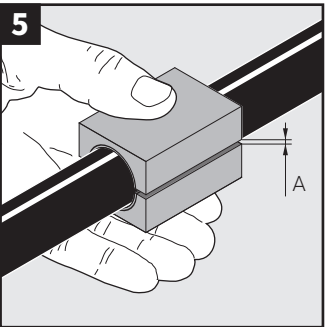
Roxtec ガイドラインに従ってフレームを構造物に取り付けます。



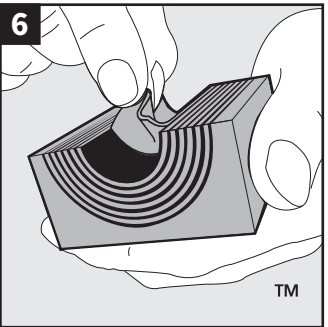
フレームをきれいにします。



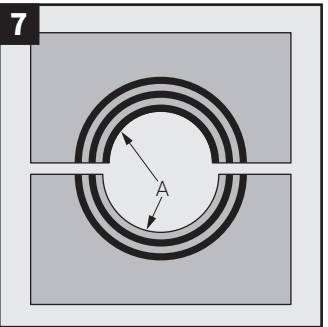
フレームに Roxtec 潤滑剤を塗ります。



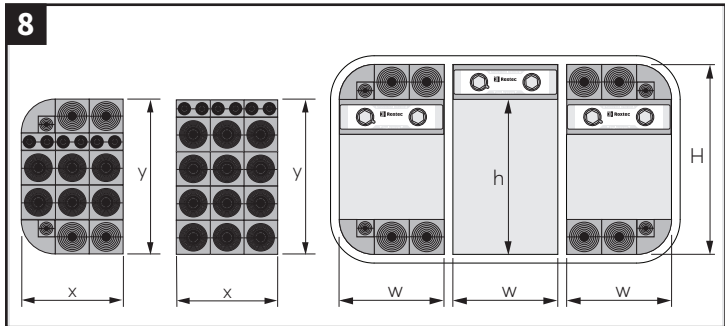
ケーブル/パイプを挟んだ時、2つのモジュールの隙間が 0.1~1.0 mm (A) になるよう調節します。



モジュールはレイヤーを剥がして調節できます。



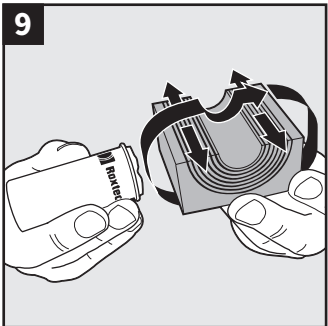
図の A で示す通り、対になるモジュールのレイヤー枚数差は 1 枚までです。



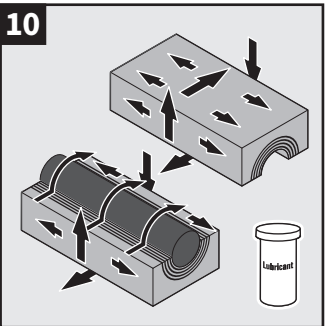
モジュールを挿入するときは、パッキングプランに従ってください。フレームに収めるモジュールの全幅 (x) と全高 (y) は、パッキングスペースの幅 (w) と高さ (h) の寸法に合わせてください。

S	H	w	h
1	101	60	60
2	101	120	60
3	160	60	120
4	160	120	120
5	218	60	180
6	218	120	180

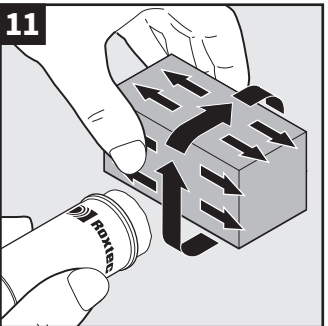
S = フレームサイズ
H = フレームの内側高さ
w = パッキングスペース幅
h = パッキングスペース高さ



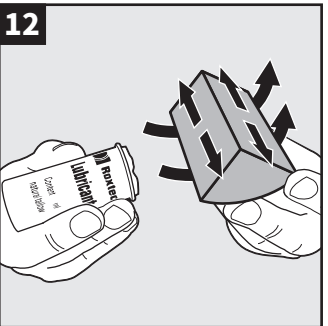
モジュールのすべてのシーリング面に潤滑剤を塗ります。



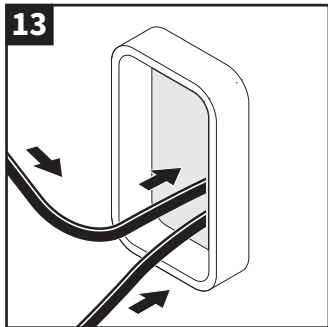
予備用モジュールのシール面にも潤滑剤を塗ります。芯棒は取り外さないでください。



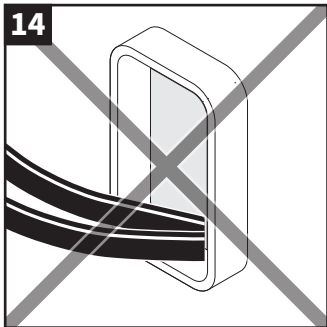
ソリッドモジュールのシール面に潤滑剤を塗ります。



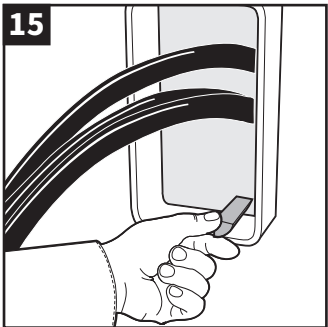
RC モジュールに潤滑剤を塗ります。



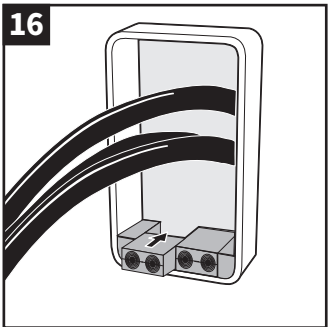
ケーブルまたはパイプを挿入します。ケーブル/パイプはフレームに対して垂直な角度で挿入してください。



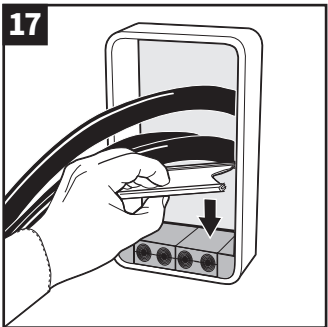
不適切な事例です。



RC モジュールを下隅に挿入します。



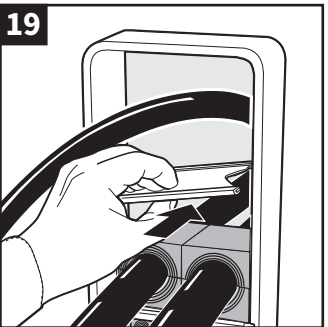
指定されたモジュールを RC モジュールの間に挿入します。



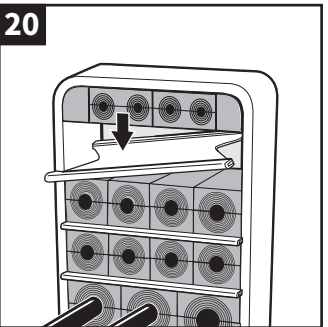
ステイプレートを挿入します。



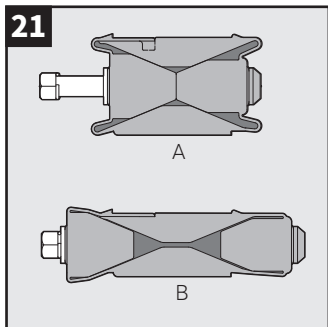
可能であれば、最大径のケーブルから順に、フレームのパッキングスペースを埋めていきます。



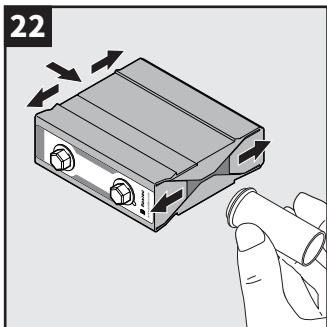
モジュール列が 1 つ完成する毎に、その上にステイプレートを挿入します。



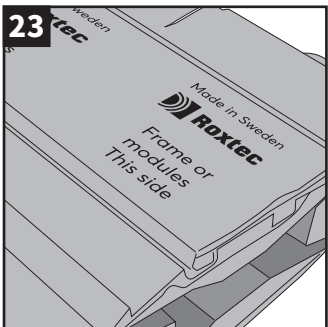
RC モジュールを上隅に挿入し、指定されたモジュールを挿入します。ステイプレートを取り付けます。



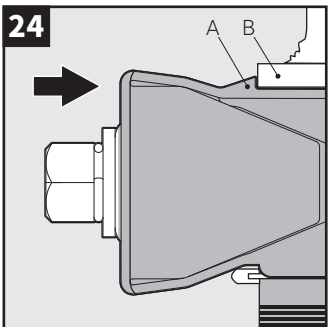
A: 完全にネジを締め付けた状態のウェッジ。ウェッジのネジが完全に緩んでいることを確認します (B)。



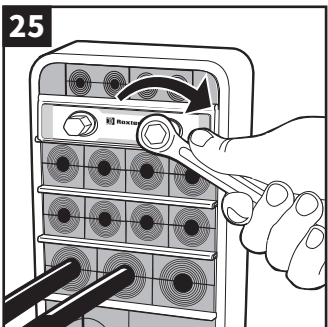
図に示すウェッジの表面に潤滑剤を塗ります。



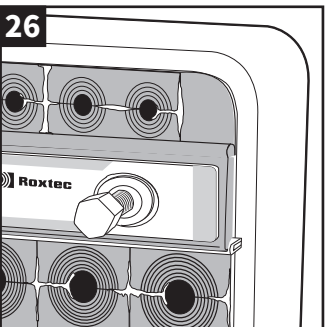
マークに従ってウェッジの向きを合わせます。



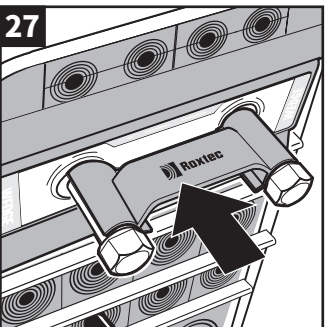
ウェッジを挿入し、突起部 (A) がフレーム (B) に接触するようにしてください。



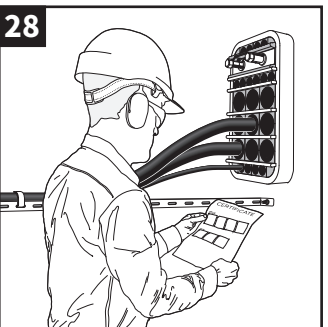
ボルトが完全に止まるまで、交互にボルトを締め付けます (最大 20 Nm)。



余分な潤滑剤が滲み出てきたら、十分圧縮できている目安となります。



ウェッジクリップをウェッジのボルトにはめ込んだら施工完了です。



その他要求事項に該当する場合は、本施工説明書に加えて、要求事項文書もご確認ください。